

千葉県銚子および飯岡海域海底砂鉄調査

長谷川 博\* 他

調査方法 物理探査  
調査期間 昭和33年8月23日から17日間  
          〃 11月13日から11日間  
調査者 長谷川博・斉藤友三郎・森喜義・馬場  
          健三・堀本健次・立花栄一・菅野敏夫

要 旨

昭和33年8月下旬から約15日間および11月中旬から約10日間、千葉県銚子市外川町を根拠地として屏風ヶ浦および飯岡海域において物理探査を実施した。本調

査は前年度より引続き実施中の、海底砂鉄調査を行なうための基礎資料の収集および探査方法の確立を主たる目的として実施したものである。調査方法としてはプロトン磁力計による全磁力測定法を採用した。

屏風ヶ浦海域で実施した調査の結果は、名洗町南方沖合付近に東西に分布する磁力異常をみいだした。また飯岡海域で実施した調査の結果では、椎名内浜南方沖合付近に磁力異常をみいだしたほか、今後の海底資源調査にさいして参考となる資料を得ることができた。

(昭和33年8月調査)

\* 物理探査部